



### 年頭ご挨拶

代表 小島康晴



新年を迎え、県政発展・県民生活向上のため、会派一同決意を新たにしています。

昨秋東日本を襲った台風第19号は、県内でも千曲川流域を中心に未曾有の被害をもたらしました。あらためて被災された皆様にお見舞いを申し上げます。復旧・復興に全力を尽くすとともに、災害に強い安全・安心の県土づくりに努めてまいります。

私たち会派は「県政改革の理念を共有し、県民の皆様の意見を広くいただき、生活の向上に資する県政の展開を図り、未来の信州を創る」という基本理念のもと、県内2か所での「県政対話集会」の開催などに取り組んでまいりました。それらを踏まえて知事に提出した「令和2年度の予算編成と当面の課題に関する提案書」をもとに、県内経済の好循環をつくり、ごなたにも居場所と出番のある地域を引き続き目指してまいります。

本年も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### 令和2年度予算編成と当面の課題

173項目 阿部知事に要望

「改革・創造みらい」は11月28日、11月定例会開会前の午前、「令和2年度予算編成と当面の課題に関する提案書」を、小島代表から阿部知事に手渡ししました。この提案書は、会派に寄せられた県民の皆様からのご意見やご要望を踏まえたもので、「台風19号災害を踏まえて」7項目、「県政全般（基本的施策）」16項目、「各局別施策」150項目にわたり、「政策集団」として熱い思いを込めて取りまとめたものです。

冒頭、小島代表は、「今回の未曾有の災害は『しあわせ信州創造プラン20』の推進に大きな影を落としている。知事の力強いリーダーシップのもと、早急な復旧・復興に取り組みむとともに県民起点での学びと自治の推進強化を図らなければならず、新年度予算編成は、大変重要なものと考えている。」と強く訴えました。

これに対し知事は、「いただいた提案は、いづれも重要な課題と受け止めて、台風19号災害については、県の総力を挙げて対応してきている。県として

### 11月定例会 県議

## 台風災害対応補正予算 615億円を可決

11月28日から16日間の会期で開催された、11月定例会では、台風第19号災害対応615億581万円余(債務負担行為154億2248万円余)を含む、総額622億5739万円余(債務負担行為208億6472万円余)の一般会計補

#### 補正予算のポイント

- 被災住宅の再建等支援資金の借入利子相当額を助成 13555万円
- 中小企業者等の施設復旧支援 グループを形成して行う施設復旧等を支援 52億8318万円余
- 農地・農業用施設の復旧支援 農地、水路、農道等の復旧費用を支援 57億1020万円余
- インフラの復旧 道路、河川等の復旧 616億599万円余(債務負担行為297億8084万円余)
- その他 園児の交通事故を受けた緊急交通安全対策の実施 点検の結果、必要とされた596ヶ所の内、今回対応分247ヶ所の交通安全施設等整備 2億840万円余(債務負担行為526万円)
- 松本平広域公園陸上競技場の整備 令和9年開催予定の国体及び全国障害者スポーツ大会の開閉会式会場及び競技会場の整備に係る基本設計に着手(債務負担行為9128万円余)

### 「県議会災害対策連絡本部」が被災状況を調査



各議員からは、深刻化する児童虐待問題への適切な対処、地域医療構想推進へ繋がる支援、単なる数合わせとならない高校再編など、積極的な取組を要望しました。

なお、この提案書の内容は、会派のホームページでご覧いただけます。

県議会は10月15日、議長・副議長、各派代表4名からなる「長野県議会災害対策連絡本部」を設置し、11月7日・25日に常任委員会委員長を含む12名で千曲川流域の被災現場を調査しました。

総合リハビリテーションセンターやクリーンプピア千曲等の県有施設、堤防が決壊した長野市穂保の水没した企業や農産物直売所・果樹園、松代町の災害廃棄物置場、飯山市皿川の決壊や商店街の浸水

被災、上田電鉄別所線の橋梁崩壊、東御市本海野の千曲川護岸の崩落や市道の損壊、佐久市原の千曲川護岸の崩落、佐久穂町大日向の林道崩落などを状況調査。

いづれも早急な復旧への支援要望とともに、千曲川の立花や戸狩狭間の改善・改良、廃棄せざるを得ない出荷前製品の救済要望、グループ補助金から漏れてしまう事業所への支援など切実な要望をいただきました。これらへの丁寧な対処が求められています。

### 2月定例会日程(予定)

- ▽ 2月13日 開会
- ▽ 19日 各党派代表質問
- ▽ 20日～27日 一般質問
- ▽ 3月2日～9日 委員会審議
- ▽ 12日 閉会